



先進口腔環境科学(サラヤ)共同研究講座

☆ オーラルケアニュース No.1 ☆

歯と歯周組織(歯はどうやって口腔内に固定されている?)

皆さんは、歯がどのようにして口の中に存在しているかご存じでしょうか？顎の骨に刺さっている？それとも、歯ぐきに埋まっている？

図は歯と歯周組織を示したものです。歯は歯槽骨にはまり込んだように存在し、歯根膜とその上部に続く歯肉で支えられています。歯根膜とは、歯のセメント質と歯槽骨の表面にそれぞれ端が埋め込まれた繊維状構造物の集合です。歯根膜には歯に加わる様々な力が歯槽骨に直接加わらないように緩衝する機能、歯に加わる微妙な力を感じ分ける機能があり、私たちが食物の硬さ・弾力性などを感じ分け、食感を得ることに役立っています。また、歯根膜の上部は歯肉に続いています。歯肉は丈夫な粘膜で、歯根膜とともに歯の支持に役立っています。歯肉は歯のエナメル質と接着(上皮付着)していますが、ブラッシングをおろそかにすると歯肉溝(歯周ポケット)に歯垢が形成され、接着が剥がれて歯肉溝が大きくなっていきます。これが歯周病の第一歩です。次回は、歯周病についてもう少し詳しくご紹介します。

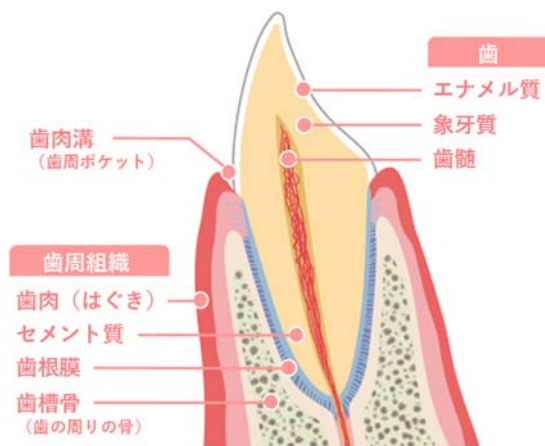


図 歯と歯周組織